



都市とITとが出合うところ

福田 知弘 大阪大学 大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 准教授

建築・都市とIT（情報技術）とは一見遠く離れた別々の分野のように思えなくもない。しかし、情報社会の時代となり、建築・都市とITとは、計画、設計、施工、運用の各フェーズにおいて、互いの存在をますます無視できなくなっている。本連載では、都市とITとの両者が出合うところや課題について、魅力的な国内外の各地をぶらりと街歩きしながら考えてみよう。

第51回 水木しげるロード(4)

工事がはじまる

昨年の今ごろ、水木しげるロード・リニューアルプロジェクトの模様を3回に渡って紹介した（第36-38回）。あれ以来、リニューアル工事が急ピッチで進められている。大山に残雪が残る今年3月に訪問した（図1, 2）。

水木しげるロードは、毎年200万人を超える観光客で賑わっており、工事期間中に来訪者が減ってしまうことは避けたい。そこで、安全を第一に、観光客や沿道住民・商業者にできる限り配慮しつつ、工事期間中も楽しんで頂けるようなアイデアが盛り込まれた。

150体を超える妖怪ブロンズ像の多くは、今回のリニューアル工事によって、新たな位置に再配置される。そのため、基本的に工事箇所のブロンズ像のみを取り外し、工事完了箇所には速やかに再設置する方針とした。これによって、半数以上は水木しげるロードに設置されている状態となる。次に、一時的に取り外した妖怪ブロンズ像の扱いについてであるが、まず、水木しげるロードの玄関口である境港駅傍の駅前公園を再整備した。そして、一時的に取り外した妖怪ブロンズ像を駅前公園に集めて、「世界妖怪会議」をテーマにした期間限定の屋外展示を行った（平成29年夏～30年春）。これまで、延長800mの道路上に点在していたブロンズ像が集まる景色は貴重であり、迫力ものである。また、世界妖怪会議に集う妖怪ブロンズ像は、道路工事の進捗に伴って、入れ替わっていくため、訪問する時には果たしてどんなブロンズ像が集まっているのか楽しみは増える。

また、リニューアル工事を円滑、安全に進めていくために「水木しげるロードリニューアル事業関連工事安全衛生協議会」が設立された。この協議会は、発注者（境港市）と工事受注者・工事業者間の連絡調整を図ると共に、工事期間中に水木しげるロードならではのイメージアップにも努めている。例えば、工事に必要でありながらも殺風景になりがちな、工事看板、カラーコーン、ヘルメットにはキャラクターやリニューアルのロゴマークを入れるなどの取り組みである

（図3）。

完成に向けて、特筆すべき点を紹介しておこう。

- ・リニューアルに併せて、新たな18体のブロンズ像の スポンサーが公募された。平成29年4月に駅前公園で完成セレモニーが行われた。
- ・新たな道路景観を創るために街路樹が一新されることになり、樹種には、妖怪のまちの雰囲気を一層盛り上げるべく「シダレエンジュ」が選ばれている。この樹形は、春から秋にかけて葉が傘のように生い茂り「妖怪の隠れ家」のようになる（図4）。
- ・平成30年2月は例年以上の大雪となり工事が大幅に遅れた。地元の理解により、土曜日でも工事を行うことになった。
- ・境港駅前にリニューアル計画を紹介する看板が設置された。看板に描かれたQRコードにアクセスすると、VR（人工現実）で描かれたリニューアル後の姿を体験することができる（図5）。
- ・リニューアル計画・工事に関する情報を広く伝えるため「水木しげるロードリニューアルかわら版」を2016年9月より約2か月おきに発行している。これまでに号外を含めて10回発行された。
- ・平成30年のゴールデンウィークは工事を一旦中断して歩行者天国とした。来訪者は、工事中にも関わらず、昨年の同時期と比べて、8%増となった（図6）。
- ・リニューアルの目玉の一つとして、夜間の演出照明の設置が進められている。特に、妖怪神社周辺では、多数の影絵照明が設置されており、これまでとは全く異なる夜の魅力づくりを目指している（図7）。

VR その後

平成29年度の境港市との共同研究では、平成28年度に制作した水木しげるロード・リニューアル計画のVRを用いて、計画の内容を市民・住民に対して普及啓発するためのVR体験会を何度も実施した。

施工の際には、完成図であるVR画面を見ながら、施工内容を確認し、もし必要であれば変更を行っている。施工業務の効率化にも寄与したようである。

また、古くなった本町アーケードが撤去され、新たなゲートが取り付けられることになった。そのため、



福田 知弘 (ふくだ ともひろ)

1971年兵庫県加古川市生まれ。環境設計情報学が専門。大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)。香港中文大学 修士論文指導教授、神戸市 都市景観審議会委員、吹田市 教育委員会委員、CAADRIA (Computer Aided Architectural Design Research In Asia) 学会元会長ほか公職兼務。NPO 法人もうひとつの旅クラブ理事。「光都・こうべ」照明デザイン設計競技最優秀賞受賞。主な著書に「はじめての環境デザイン学」など。ふくだぶろーぐは、<http://fukudablog.hatenablog.com/>

VR 仮想空間においても、本町アーケードを撤去し、設計中の新たなゲートの3次元モデルを制作して、リニューアル計画の最新案を確認できるようにした。前述の通り、平成28年度に水木しげるロード計画のVRモデルの全体を制作していたため、今年度はゲートの

3次元モデルのみをVR 仮想空間に挿入するだけで済んだため、短時間で全体像を確認することができた。

水木しげるロードは、平成30年7月14日、リニューアル・オープンを迎える。



図 水木しげるロード2018春

© 水木しげる